

北海道の印刷

1

第812号
2024年1月1日発行



謹
賀
新
年

【写真】能取岬から望む初日の出（網走市）

INDEX

3~7 年頭あいさつ

8 印刷営業講座オンライン開催のご案内

9 「北海道印刷工業組合・集団扱自動車保険」のご案内

10 「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」のご案内

11 page2024のご案内

11 新年交礼会のご案内

12~16 令和6年 紙上新年名刺交歓



北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。



令和6年新春を寿ぐ



北海道印刷工業組合
理事長

岸 昌 洋

明けましておめでとうございます。

昨年中は、組合運営ならびに事業推進に格別のご協力ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

3年間にわたるコロナ禍による社会・経済活動の停滞感は漸く薄れつつあり、明るい兆しが見え始めてきています。

反面、コロナ禍は、中小印刷業に限らず、世の中の様相を大きく変えてしまったことも事実です。

当組合は、このような状況を意識しながら、組合員の繁栄と永続のため各種の事業に積極的に取り組んでいます。

8月には、旭川支部の主管により、第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会を開催し、組合員・賛助会員をはじめご来賓・関連業企業等約150人の皆さまにご参加いただき、直面する課題を共有し、解決策を見出し、さらなる経営基盤の安定強化を図る契機とするとともに親睦を深め連携をより強固にすることができました。

9月には、HOPE2023を、4年振りにコロナウイルス感染防止の制限を加えることなく、正規のかたちで出展者と来場者がコミュニケーションを図れるように開催し、各社が新たな価値を見出し、新しいかたちのビジネスを展開し、発展を続ける機会となる場を提供することができました。

コロナ禍を転機に、働き方の変化が加速するとともにDXの進展により、社会における情報の多様化が進んでいます。

この変化のなかで、文化と情報コミュニケーションの担い手である印刷産業の果たす役割と責任はさらに重要になり、社会や人々から求められる期待も日増しに大きくなっています。

これを踏まえ、当組合は、年明け早々に生成AIと印刷業の関わり方・方向性を探る研修会を行い、組合員企業の理解を深め、今後一層、社会の要求に応えられるように邁進して参ります。

昨年度から続く国際社会情勢による世界的な食糧・エネルギー不足の常態化に加え急激な円安に伴う物価上昇により、印刷産業にとっても資材・エネルギー・物流価格等の値上がりが続き、経営は極めて厳しい状況にあります。

これらの上昇分を製品価格に転嫁し、適正取引化を進めることが急務であり、業界挙げての運動を今後も続けて参ります。

本組合は、本年も印刷産業がDXで世の中をより便利にするため、地域に根ざし人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業として発展するため各種事業を積極的に展開して参ります。

これらさまざまな事業を組合員の皆さまに知っていただき、利用いただくことによって組合員であることのメリットを享受できることになります。

是非、一人でも多くの組合員の皆さまに組合事業に積極的にご参加いただき、情報を共有され、メリットを享受し、各社の持続的な発展・繁栄のための糧としていただきたいと存じます。

最後になりましたが、本年が平穏であり明るく輝かしい飛躍の年となることを願い、関係諸官庁・各機関・団体をはじめ関連業界ならびに組合員・賛助会員の皆さまの一層のご理解ご支援をお願い申し上げ、新しい年が皆さまにとりまして、より良い、実りの多い年となりますことを祈念しまして、新年のごあいさつとします。



経済産業省
北海道経済産業局長

岩永正嗣

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

北海道経済は足下、個人消費や観光分野では持ち直しの動きが見られ、今後は半導体拠点の整備や洋上風力等の再生可能エネルギーの導入拡大等、大規模投資の継続が期待されます。

経済産業省では新たにミッション志向の産業政策を打ち出しており、私ども北海道経済産業局においても、以下の取組を全力で推進してまいります。

まず、国内投資の推進、国際競争力の強化です。

次世代半導体の拠点化やデジタル人材の育成、洋上風力・水素等クリーンエネルギーの利活用拡大に向けた環境整備を推進するとともに、安全性の確保を大前提とした泊発電所再稼働、高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する文献調査等について、地域のご理解とご協力を得ながら取り組みます。また、食・観光産業の国際競争力強化に向けて、生産性向上や輸出の支援、観光産業活性化に取り組みます。

第二に、イノベーション・変革に向けた地域・企業の新たな挑戦の支援です。

スタートアップ企業の成長支援や、宇宙産業・スポーツ産業等の新産業の創出を推進します。また、アツギベンチャー支援の体制強化や中小企業等への資金繰り・事業再生など、地域企業が新たな挑戦に取り組んでいくために必要な環境整備にも引き続き注力してまいります。

第三に、地域の包摂的成長を通じた国民所得の向上です。

中堅・中小企業を集中支援し地域の稼ぐ力を高めていくと同時に、価格転嫁対策や取引適正化を推進し、賃上げに向けた企業の原資確保も後押しします。また、物流課題の解決に向けたフィジカルインターネットの実現等、社会課題の解決を通じた地域経済の維持・発展にも挑戦していくほか、製品安全確保や悪質商法対策を進めます。

「強い北海道経済」の実現に向けて関係機関の皆様とともに職務に邁進してまいります。より一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本年が皆様にとって実りの多い飛躍の年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和6年 年頭所感



北海道知事

鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

北海道を前へとの想いを胸に、本年も、道政に全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、3年を超える長期にわたり、私たちの生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症が、5月には5類への移行という大きな節目を迎えました。これまでの対策へのご理解とご協力に対し、医療従事者の皆様をはじめ、道民や事業者の皆様に改めて心より感謝申し上げます。

5類移行に伴い、社会経済活動が活発化する一方で、不安定な国際情勢などを背景とした物価高騰の影響の長期化や、中国による日本産水産物の全面輸入停止など、道民の皆様の暮らしや事業者の方々の経営環境が厳しい状況におかれた1年となり、道では、価格高騰等経済対策を講じるとともに、道産水産物の消費拡大に向けたキャンペーンを展開するなど、総力を挙げて取り組んでまいりました。

厳しい状況が続く中であっても、昨年は、本道が国内外から大きな注目を集め、更なる飛躍に向けて大きく歩みを進めた1年でもありました。

ラピダス社の立地が決定し、次世代半導体を北海道から世界に届けるという前例のないプロジェクトがスタートしたほか、日本最大級のデータセンターの建設が発表されました。また、「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」の開催や本道へのGX投資の促進に向けた官民連携のコンソーシアムの設立など、DXやゼロカーボン北海道の実現に向けた動きも加速しました。

さらには、アジアで初めての開催となった「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」では、雄大な自然や多様なアクティビティ、多彩な食、独自の歴史や文化といった本道の魅力を国内外に広く発信することができました。

また、36年ぶりの本道での開催となった「全国高等学校総合体育大会」では、大きな声援をうけて躍動する若き力が、本道の確かな未来を感じさせてくれました。「全国豊かな海づくり大会」は、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、海の恵みを守り、日本の豊かな食を支える道産水産物の魅力を発信する機会となりました。

新しい年は、こうした歩みをさらに加速し、安心して住み続ける地域づくりや北海道の魅力を世界に広げる取組を進めてまいります。

このため、社会経済情勢に機動的に対応しながら、足腰の強い地域経済の確立や地域産業を担う人材の安定的な確保などに取り組むとともに、子ども応援社会の実現に向けた取組を着実に進めるほか、ほっかいどう応援団会議を活用した地域を支える応援の輪を広げます。

また、次世代半導体製造拠点の実現に向けた取組を進めるとともに、本道の再生可能エネルギーのポテンシャルなどを活用し、新たな産業や人、投資を呼び込みます。

さらに、インバウンド回復の波を着実に捉え、観光立国北海道の再構築を加速するとともに、戦略的な輸出拡大により道産食品を世界に広げながら、一次産業の生産基盤の整備などを進め、日本の食料安全保障に貢献してまいります。

本道を取り巻く環境が大きく変化する今こそ、北海道のめざす姿を道民の皆様と共有し、ともに歩みを進めていくことが重要です。このため、新たな北海道総合計画を策定し、その実現に向けた政策展開と地域づくりの基本方向をお示しながら、皆様とともに、北海道の確かな未来を創ってまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



北海道中小企業団体中央会
会長

尾池 一 仁

新年明けましておめでとうございます。

北海道印刷工業組合の皆様におかれては、健やかに新春を迎えられたことをお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月に総投資額5兆円に及ぶ国産半導体メーカー「ラピダス」の工場建設が千歳市に決定したほか、3月には北広島市に北海道日本ハムファイターズの新球場を含む「北海道ボールパークFビレッジ」の開業、さらには9月に「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」が厚岸町で開催されるなど、明るい話題がありました。

また、5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが第5類に移行し、事業やイベント活動の規制が緩和され、海外をはじめとした観光客などが道内各地を訪れるなど、コロナ禍前の状況を取り戻しつつあります。

しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラム組織「ハマス」によるイスラエルへの奇襲攻撃に端を発したガザ地区での軍事衝突など国際情勢の不安定化に伴う、さらなるエネルギーや原材料の価格高騰に伴うコストの増加が懸念されており、私たち会員事業者を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。

加えて、人口減少や少子高齢化に伴う労働力、デジタル化やグリーン改革への対応のほか、本年1月より義務化となった電子帳簿保存法や4月から建設業・運送業に働き方改革関連法が適用となる「2024年問題」など、新たな課題にも対応していかなければなりません。

一方、1月には4年ぶりとなる国内外の自動車など最新技術を展示するイベント「札幌モビリティショー2024」や「第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」の苫小牧市での開催など、道内経済の活性化が期待されるところです。

また、国では、物価高や人手不足など、厳しい経営環境に直面する中小企業・小規模事業者に対する価格転嫁対策や資金繰り支援を実施するほか、事業承継の円滑化を強力に推進することとしており、道内事業者の経営の安定や改善が期待されるところです。

このような環境の中、中小企業・小規模事業者が持続的に発展していくために、相互扶助の精神に基づく中小企業連携組織の活動が益々重要になるものと考えております。

本会といたしましても、「連携の絆を深め、輝く明日へ」のスローガンの下、会員事業者が抱える問題解決への支援に積極的に取り組み、皆様の事業活動の継続とさらなる発展につながるよう努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様におかれましては、新しい年が希望に満ちた年となるよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



全日本印刷工業組合連合会
会長

滝澤 光 正

明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

昨年10月に5年ぶりに開催いたしました「2023全日本印刷文化典広島大会」におきましては、全国から580名を超える方々にご参集をいただき、全印工連の団結と協調、さらには将来の業界発展に向けての課題や方向性の共有を実現することができました。全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第です。

さて、全印工連では引き続き各種事業への取り組みを精力的に進めておりますが、特に昨年は、二つの大きな成果を上げることが出来ました。一つは、夏に「見て、触って体験するユニバーサルデザイン」をテーマに、全印工連では初となる「伝えるためのユニバーサルデザインフェア」を開催し、多くのご来場者を迎え、またマスコミにも取り上げられ全印工連のMUDへの取り組みに対する高い評価を得ることができ、その延長上にあるSR調達の推進に向けての確固たる足がかりを築くことができました。

もう一つは、「グリーン購入法印刷用紙に係る判断基準の見直し」です。ここ数年にわたり全日本印刷産業政治連盟と連携し、自由民主党中小印刷産業振興議員連盟の支援を得て、国に対して「グリーン購入法印刷用紙に係る判断基準の見直し」を求めてきましたが、昨年6月に特定調達品目検討委員会のもとに印刷用紙専門委員会が設置され、私も委員として招集され、会議の中で何度も即時の課題解決を求める発言をしてまいりました。その結果、古紙パルプ配合率の最低保証撤廃をはじめとする大幅な見直しが検討され、グリーン購入法適合紙の流通量の増大、各製紙メーカーの適合品一覧表の作成と公開、国による全国官公庁調達担当者宛の文書発出による周知徹底、また供給に係る政府相談窓口の設置などの各種対応策の実施が決定され、ようやくここ数年の懸案であった官公需の繁忙期に備えた受注体制を整えることが出来ました。

全印工連は本年もブランドスローガンである「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」へと繋がる各種事業を積極的に推進するとともに、併せて中小印刷産業振興議員連盟との連携による官公需取引改善への対応など、全印工連の組織力を存分に活かした事業活動に全力を挙げて取り組み、中小印刷産業共通の課題解決に向け一層邁進してまいります。

2024年が皆様にとって明るく希望に満ち溢れた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

2023年度印刷営業講座（オンライン開催）のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、印刷営業講座を今年度からオンラインで開催する。

同 講座は、印刷営業活動に必要とされるマーケティング、印刷技術、関係法規等の専門知識を修得する基礎講座で、厚生労働大臣認定の「印刷営業士」取得を目指す方にとって最適な講座である。

ただし、印刷営業技能審査認定試験は、現地での受験となる。

講習期間	2024年1月30日(火) 13:00~18:00 2月13日(火) 13:00~19:00 2月20日(火) 13:00~18:00 3月5日(火) 13:00~18:00 } 4日間の受講で修了
講習方法	Zoomによるオンライン開催
講座内容	印刷営業の基本からマーケティング、グループワーク、関係法規、見積計算実務等
講師	(株)バリューマシーンインターナショナル 宮本泰夫氏 / (一財)経済調査会 高見隆登氏
受講対象	印刷営業の実務経験1年以上の方
定員	最大40名
修了証交付	全講座（21時間）のうち、15時間以上出席した方に修了証を交付します。
受講料	組合員：20,900円（税込）／一般：38,500円（税込）
申込期限	2024年1月22日(月)
申込・照会先	全日本印刷工業組合連合会事業課 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 TEL：03-3552-4571／FAX：03-3552-7727

★印刷営業技能審査認定試験

日時：2024年3月12日(火) 14:00~17:00

会場：日本印刷会館 2F 会議室（東京都中央区新富1-16-8）

受験料：知識試験4,400円（税込）／技能試験8,800円（税込）※講座受講料とは別に受験料が必要です。

受験資格：印刷営業の実務経験1年以上

受験希望の方は、上記照会先までご連絡ください。後日、受験申請書をお送りいたします。

詳細は、全印工連ホームページを参照ください。 <https://www.aj-pia.or.jp>

「北海道印刷工業組合・集団扱自動車保険」のご案内

一般契約と比べて割安！

集団扱の分割払契約は分割割増なし。
一括払なら、一般契約の一時払に比べて5%割安です。

払込みは便利な口座振替！

初回の保険料は原則始期日から2か月後の口座振替となります。



等級（等級別割引・割増制度）はそのまま継承できます！

他の保険会社や、JA共済、全労済からの切替もOKです（一部の共済を除きます）。

ご本人以外のお車でも、下記の条件を満たすお車であればご加入いただけます！

I. 保険契約者が下記の場合

(1) 集団の所属員（下記①～⑤のいずれかの方）

- ① 集団の役員・従業員 ② 集団の構成員 ③ 前記②の役員・従業員
④ 集団を構成する集団の構成員 ⑤ 前記④の役員・従業員

(2) 集団自身

II. 記名被保険者・ご契約のお車の所有者が下記の場合

- ① 保険契約者またはその構成員 ② 保険契約者の役員・従業員
③ 上記①・②の配偶者 ④ 上記①・②またはその配偶者の同居の親族
⑤ 上記①・②またはその配偶者の別居の扶養親族

ご契約にあたっては必ず各種自動車保険パンフレットおよび「重要事項のご説明」をあわせてご覧ください。
また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、必要に応じて引受保険会社のホームページでご参照ください。もしくは、代理店・扱者または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、代理店・扱者または引受保険会社にお問合わせください。

■取扱代理店

お問い合わせはお電話にて、お気軽にどうぞ!!

株式会社プロット

担当者：田中春二

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東4丁目1番地1
TEL：011-700-1020／FAX：011-700-1021

■引受保険会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 札幌支店 札幌第一支社

〒060-8553 札幌市北区北七条西5丁目5番3号
TEL：011-728-1314／FAX：011-728-1354

(2019年10月承認)GB19A011004

「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」のご案内

北海道印刷工業組合は、組合員企業の経費節減の一助とすべく「集団扱火災保険」を実施している。

当 組合が実施する「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」は、火災保険を集団扱いとして取り扱うことにより、組合員の皆さんが現在加入している火災保険を、補償内容をこれまでとほぼ同内容として**保険料が約5%割引適用**できる制度となっている。

「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」の引き受け保険会社は、三井住友海上火災保険株式会社となっている。

「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」は、組合員のみが利用できる制度であり、組合加入メリットの一つでもある。

また、「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」は、会社社屋・工場のみならず**社員の方々の自宅の火災保険も加入できるので、社員の福利厚生制度の一つとして利用いただくことも可能となっている。**

「北海道印刷工業組合・集団扱火災保険」への加入時期は、現在加入いただいている火災保険の次の更新時からが最適となる。

なお、当組合では、この制度の推進に向けて、取扱代理店として、三井住友海上火災保険株式会社指定の代理店である「株式会社ばんしょう札幌支店」に協力を依頼しており、同社が全道地域を担当している。

割
安
集団扱の
メリット

- 保険料は割増なしで分割払！
- 1年一括払にすると集団扱以外のご契約の一時払と比べて保険料が約5%お得！

お客さまのニーズに合わせた補償設計が可能です！

「財物損害」、「休業損害」のいずれか、もしくは両方をご選択いただき、補償の必要性、予算などに応じて、充実補償の「ワイドPlus」、「ワイド」、基本的な補償をそろえた「ベーシック」、「エコノミー」の4つの契約プランから補償内容をお選びいただけます。

財物損害
の補償



火災をはじめ、台風や豪雨などの自然災害、その他偶然な事故により財物に生じる損害を補償します！

休業損害
の補償



事業に使用する建物等が損害を受け、休業した場合に生じる損失を補償します！

事業形態に応じた幅広いリスクを選んで・まとめて補償します！

豊富なオプション特約で賠償責任や類焼損害などの幅広いリスクに対応します。



お客さまの事業に役立つ3つの付帯サービスをご利用いただけます！

被災設備修復サービス



火災等で被災した設備を、被災前の機能・状態に修復し早期の事業復旧を支援するサービスです。

気象情報アラートサービス



風災、水災等の自然災害への事前対策に有効な気象情報を配信するサービスです。

人事・労務相談デスク



事業に関するトラブル等について、弁護士や税理士、社会保険労務士へ相談できるサービスです。

北海道印刷工業組合・集団扱火災保険

〈引受保険会社〉

三井住友海上火災保険株式会社

〈取扱代理店〉

株式会社ばんしょう札幌支店

〒063-0841

札幌市西区八軒1条西1丁目1番26号

アルファ琴似駅前ビル202

電話 011-632-1230 / FAX011-632-1233

「page2024」のご案内

公益社団法人日本印刷技術協会は、「page2024」を“連携”をテーマに開催する。
今年で37回目となる「page2024」は、カンファレンス・セミナーを2月5日～13日までライブ配信で行い、
基調講演は、カンファレンス・セミナーの最終日の2月13日にライブ配信で開催する。
展示会は2月14日から16日まで、池袋のサンシャインシティ文化会館で開催する。

■カンファレンス・セミナー

日 時	令和6年2月5日(月)～2月13日(火) ライブ配信
-----	----------------------------

■基調講演

日 時	令和6年年2月13日(火) 13:00～15:00 ライブ配信
-----	---------------------------------

■展示会

日 時	令和6年年2月14日(水)～16日(金) 10:00～17:00
会 場	サンシャインシティ文化会館（東京都豊島区東池袋3-1）
入 場 料	1,000円（税込、Webによる事前登録で無料）

※詳細は、右記ホームページを参照ください。 https://www.jagat.or.jp/cat8_2024

令和6年新年交礼会日程

名称・支部	日 時	会場
北海道印刷関連業協議会	1月10日(金) 17:00	札幌グランドホテル
旭 川 支 部	1月18日(金) 17:00	OMO7旭川
小 樽 支 部	1月26日(金) 18:00	オーセントホテル小樽
十 勝 支 部	1月26日(金) 18:00	IN THE SUITE
札 幌 支 部 例 会	2月8日(金) 18:00	札幌東急REIホテル

令和5年12月24日現在